

じょいんと

Vol.25
2018

あなたにとっての男女共同参画とはなんですか？



ご存知ですか？ 内閣府男女共同参画局の新キャンペーン



始めようキャンペーン

おとう飯の心得

- 一、手早く
 - 一、簡単に
 - 一、リーズナブルな食材で
 - 一、家の調味料を使い
 - 一、後片付けは最後に
- おとう飯、
見守ってね、おかあはん



■おとう飯の心得

「たまに男性が料理をすると高級食材やその時にしか使わない調味料を購入して困る」という声を耳にします。一方「折角料理したのに文句を言われて作る気をなくした」という話も聞きます。そんな声を踏まえて「おとう飯の心得」が完成しました。

夫の週全体平均1日あたりの家事・育児等関連時間 **67分**

総務省が行った「平成23年社会生活基本調査」の結果では6歳未満の子どもを持つ夫の週全体平均1日あたりの家事・育児等関連時間は67分、平成27年12月に閣議決定された「第4次男女共同参画基本計画」では、この時間を平成32年(2020年)までに150分という数値目標が掲げられています。

そのような中、男性の家事参加、なかでも料理への参加を応援しようというのが「おとう飯」始めようキャンペーンです。キャンペーン開始にあたっては、飲食店での調理経験が豊富なよしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑いコンビ、イシバシハザマの石橋尊久さんが「おとう飯大使」に任命されました。



「料理教室」や「レシピコンテスト」など開催中!

平成29年6月30日(金)7月1日(土)に開催された「第12回食育全国大会inおかやま」の中で、おとう飯大使・石橋さんが、鶏もも肉の旨煮など「おとう飯」料理を披露、来場していた男性にも作っていただきました。また、来場していた女性に試食をお願いすると、その美味しさに感激。

まさに、男女を問わず料理に対するハードルを下げる機会となりました。今後も家事・育児等への参加促進、なかでも料理への参加を後押しするために「料理教室」や「レシピコンテスト」などの開催で「おとう飯」を活用しましょう。

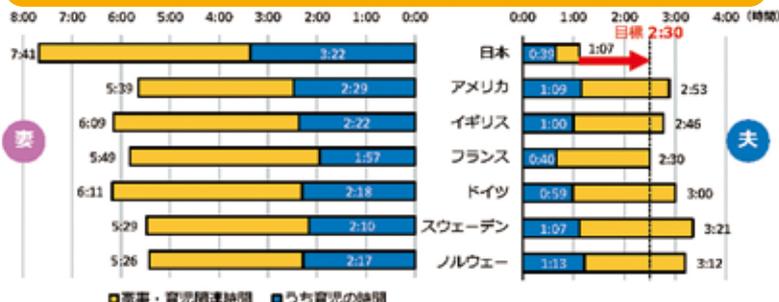


「おとう飯キャンペーン」ホームページ <http://www.gender.go.jp/public/otouhan/>

男性の暮らし方・意識の変革に関する調査から

男女共同参画はどこまで進んでいるの？ 家事育児への男性の参画度合いの現状とこれから…

6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間(週全体1日当たり)



資料:総務省「社会生活基本調査」(平成23年)、Bureau of Labor Statistics of U.S. "American Time Use Survey" (2004) Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)

世界の中で見ても低い 日本の家事・育児の 男性参画度合い

日本の男性の週全体平均1日あたりの家事・育児関連時間は67分(女性は461分)と各国と比べて特に家事時間が短く、84.5%が家事を、69.1%が育児を行っている。介護・看護を理由とした離職転職者数10万人のうち8割が女性。

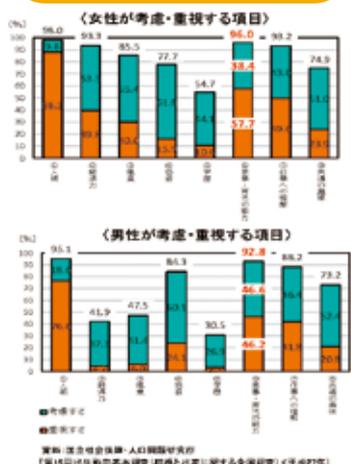
子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみた第2子以降の出生状況



資料:厚生労働省「第14回18歳以上世代別出生率調査」(平成27年)



結婚相手の条件として
考慮・重視する項目



資料:厚生労働省「結婚相手として考慮・重視する項目調査」(平成27年)

社会構造の変化による 男性の家事・育児参画の必 要性がますます高まっている

- 例えば
 - ・介護・看護を必要とする人口の増加、現役世代の人口減少
 - ・育児と介護のダブルケアを行っている8割が、30~40歳代
 - ・増え続ける共働き世帯と核家族世帯

良いとこ尽くしの男性参画!

- 夫婦で過ごす時間の増加や満足度向上、子どもに対する好影響
- 男性の職業生活における段取り力、コミュニケーション力、マネジメント力の向上、多様な価値観の醸成等、キャリア形成への寄与
- 男性の地域における新たなネットワークの構築
- 家事・育児等の軽減によるさらなる女性活躍の推進
- 企業における、多様な人材増加による業績への好影響、管理職による業務効率化、生産性向上の実感
- 少子化対策につながる男性の家事・育児時間伸長による第2子以降の出生増

民間企業の男性の育児休業取得率の推移



資料:厚生労働省「雇用均等基本調査」

男性の家事・育児があたりまえの時代がやってきた。
皆さんのまわりはいかがですか？

女性PTA会長座談会



Talk about
DKS Danjo
Kyodo
Sankaku

向かって左から
藤井美里さん 藤井美保子さん 河村聡子さん

得るものは無限大！ やって良かったPTA会長

近年「女性が輝く社会を」と叫ばれながら、国会内の女性議員数や企業の女性重役の割合など、まだまだ国際社会の流れに追いつけないでいる日本です。ただ、身近なところで頑張っている女性も数多くいます。今回は、高等学校のPTA (Parent Teacher Association) という組織で、子どもたちのために尽力されている、あるいはされていた女性PTA会長さん3名に話を聞きました。

会長をされていかがでしたか？

登壇して見る子どもたちの顔は、会長じゃなければ経験できない景色だよ…と言われて引き受けました。先生や部活の話など、子どもと共有できる範囲が広がり、我が子との関係にもプラスとなりました。時には子どもの友達からの相談事を解決に導くことも。

女性ならではのことは？

お母さん方との立ち話や雑談の中にこそ、学校への意見や提案が読み取れます。そのような雑談力は女性同士ならではのでしょう。また、PTA役員の家庭環境に目を配ることができるのも、女性ならではのと思っています。純粋に子どものために尽力するのであって、「会長」という肩書きには全く興味ありません。

女性にとっては大変なこと

女性だけで話をすると、まとまらない事も多々ありました。そういう時、男性役員さんからのフォローが有り難く、尊敬することも多かったです。

男性役員さんからひとこと

一生懸命努力をしている人を応援しなければいけないし、盛り上げなければならぬ！という使命感でした。性別は関係ありません。

元山口県立南陽工業高等学校
PTA副会長 水津 淳志さん

時には理由があって役員を辞めていただくような辛い役回りもあり、そして、最後には決断し、責任をとる覚悟が必要でした。

それでもやって良かったと思えること

学校(校長先生や教頭先生、PTA担当の先生、事務所)との折衝などで組織とはどういふものか、よくわかりました。PTAはそのような社会の仕組みをごく普通の母親でも経験できる貴重な場所だと思います。

また、高校のPTAは校区の狭い小中学校とは違い、地域が広いことでしがらみもなくとても楽しいです。



女性は家庭からの目線

で我が子の学校環境を考え、男性は社会からの目線で感情的にならずに広い視野で冷静に判断されます。PTAには、そのどちらも大切だと思います。年齢層の広い会員さんからは得るものも多く、様々な経験は非常に良い勉強になりました。

PTAは子育てという共同作業に男女関係なく、親と先生が協力して関わられる、唯一の機関です。今後、PTA会長をされるチャンスのある皆さんには、是非経験して欲しいです！

●出席者
藤井美保子さん(53)
元 山口県立熊毛北高等学校PTA会長
元 山口県公立高等学校PTA連合会 副会長
現 〃 〃 実行委員
看護師 子:男(32)・男(31)・女(27)・女(20)

河村聡子さん(52)
現 山口県立徳山商工高等学校PTA会長
現 山口県公立高等学校PTA連合会 副会長
自営業 子:男(23)・男(20)・男(18)・男(16)

藤井美里さん(47)
元 山口県立佐波高等学校/防府高等学校佐波分校PTA会長
元 山口県公立高等学校PTA連合会 常任委員
元 山口県立南陽工業高等学校PTA会長
保育所補助員 子:男(23)・男(21)・男(19)

H29年度 女性PTA会長数

	総数	男性	女性	女性の比率
周南市PTA連合会(公立小・中学校)	41	40	1	2.44
山口県PTA連合会(公立小・中学校)	439	428	11	2.51
山口県公立高等学校PTA連合会	73	59	14	19.18
山口県私立中学高等学校PTA連合会	21	19	2	9.52
県内合計	574	546	28	4.88

Office G&C代表

講師 中山 正人さん



周南市男女共同参画セミナーから 平成29年10月18日 徳山大学

『生活名人は仕事名人 ワーク・ライフ・バランスを実現する仕事術』

work
life
valance

what ワーク・ライフ・ バランスとは？

仕事をほどほどにして、早く帰ることはありません。また、仕事か生活か、天秤にのせてどちらかを取る事でもありません。いかに効率よく成果のせる仕事をし、いかに短時間で生産性を高めるかが鍵です。そのために、個人は腕を磨き、組織は仕組み作りをしなければなりません。

why なぜワーク・ライフ・ バランスが必要なのか

若い人の中には、仕事と生活の両方を重視する人が増えています。男性が組織の中心だというこれまでのやり方も通じなくなってきています。更に、今後益々高齢化が進み、男女ともに介護人口が増え、45歳から急増する介護離職者が企業にとっては大きな痛手となっていくでしょう。そのため今、これまでの働き方への意識を変えていく必要があるのです。

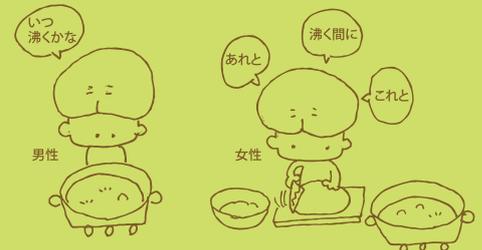
how ワーク・ライフ・バランス 実現のために

育児休業制度や介護休業制度、短時間勤務制度、有給休暇取得の促進、ノー残業デーの設定など、仕組みを作るだけでは機能しません。

実現のためには、意識改革が必要！

女性に学ぶべし

時間に制約のある女性がいる職場は、男性の業務効率も上がっていくことがわかっています。
(順次処理の男性脳と並列処理できる女性脳)



『正味業務を増やし集中』し、『付帯業務の効率化』をはかり、『ムダの排除』が重要

ムダを減らすためには、「やめる」「簡素化する」「やり方を変える」「会議を変える」が必要です。手書き文化や対面文化など、仕事のやり方も昔と全く変わっていません。ITを活用して、効率を上げましょう。

正当な評価をする

仕事が効率よくできる人には更に仕事が集まり、それが続くと結果倒れることとなります。それは会社にとって大きな損失です。遅くまで残っているだけで評価の対象とされることは間違っています。

ワーク・ライフ・バランスとは、福利厚生策ではありません。これからの時代、組織も個人も生産性を高め仕事名人に！

プロフィール
中山 正人

1980年 神戸大学経済学部卒業。大手化学繊維メーカーの人事・労務部門で勤務後、上場企業の経営企画・人事担当執行役員として、経営戦略立案と実行管理、人事ビジョンと制度の再構築、事業開発、企業買収、米国ベンチャーとの提携、買収した会社の経営(取締役)などに従事し、ビジネス界で四半世紀を過ごしました。その後、私立大学のキャリア教育およびキャリア支援責任者を経て、Office G&Cを設立し今日に至っています。

イクボス宣言から1年!

周南市の イクボス最前線

イクボス宣言をされた企業の近況

平成28年12月11日のイクボス宣言から一年が経過しました。各企業が様々な取り組みをしています。



58事業所(平成30年1月現在)
に参加いただいています。

立ち上げ当初は36事業所だったイクボスプロジェクト。イクボスがますます増えて共同参画の盛んな周南市に!

Iku-Boss

防長建材株式会社

平成27年度「やまぐちイクボス表彰」受賞
古野陽一郎さん(当時営業課長、現専務)
平成28年度「しゅうなんイクボス同盟」加入

業種:建設業
住宅等の内装や防水、リフォームなどの
専門工事や建材販売



左から古野訓章さん(代表取締役)
古野陽一郎さん(専務)

部下が子育てをはじめとする生活と仕事の両立ができるように配慮。
育児休暇取得や短時間勤務でも業務を計画的に進め業務効率を上げ、
専務自らも仕事と生活を充実させている管理職=イクボスである。

□イクボスを始めるきっかけと導入してからの変化

- 従業員7名だった4年前に、会社で初めて2名の女性従業員が同時に産前・産後休暇と育児休暇を取得することになり、体制づくりに取り組んだ。
(それまでの女性従業員は、結婚や出産を機に退職してきた。)
- 2名の男性配偶者の「短時間勤務」「子の看護休暇取得」に取り組む。
- 平成29年5月に経理業務担当の女性従業員の「育児休暇取得」

□オンラインクラウドシステム導入

休暇前後や休暇中はもとより、子育ての時期まで見据えて、経理業務の改善を図る。

- 改善点:①業務内容の見直しとスリム化
②休暇取得前後のスムーズな引継ぎ(代替要員の雇用)
③残業ゼロ

インターネット環境下なら、社外での業務も可能なことから、多様な働き方や仕事と子育て等が両立できる環境づくりに活かせる。

現在、従業員8名で新規採用者が集まらない中、女性従業員が社内で培ってきた経験やスキルを活かすために制度を整えている。代替要員を雇用しても、引継ぎがスムーズにできたり、短時間勤務で仕事も生活も両立できるよう今後も限られた人数で小さい事業所ながらも、継続して男女共に働きやすい職場環境を目指している。

推進員 report!

周南市男女共同参画推進員の活動をご紹介します!

人の意識や習慣を変えるのって難しいですね。推進員の働きは小さいものですが、9名の推進員が、いろいろなところに出向き、いろいろな方法で、幅広い世代の方たちに「男女共同参画」の大切さをアピールしています。たとえば・・・

公民館でワールドカフェ開催



ハートフル人権セミナー(コアプラザかの)

参加者のみなさんから様々な意見が出てきます。参考になります!

ここは、カフェです。
自由に気軽におしゃべりを!
テーマを決めて、お話をして、メモに書きとめて、別のテーブルでまたおしゃべりを・・・他のテーブルもまわって、様々なアイデアで、喉ならぬ気持ちを潤します。参加者のみなさんと一緒に考えました。

手づくりや周南市の民話をもとにした紙芝居を上演



周南こどもゆめまつり(ゆめプラザ熊毛)

恒例の「こどもゆめまつり」での紙芝居上演

来場者が年々増え、うれしい悲鳴。
ボランティアの中学生の純粋パワーに助けられています。
いつもはゲーム三昧?でも、ここでは素直に紙芝居の世界に見入り、聞き入る子どもたちに感動をもらっています。



出前トーク(太華中学校)

太華中学校での紙芝居上演

新しい演目に推進員一丸となってチャレンジしました。
お互いに尊重し合う大事さが、生徒さん達の心に届いていたらよいですね。
さて次はどこへ出向きましょう・・・

募集中!

手づくりの紙芝居の貸出、出前トーク(紙芝居の上演)を行っています。
お申込みは、男女共同参画室 ☎0834-22-8205へ

周南/女性の活躍推進企業紹介

周南市内の女性が活躍する企業に伺い、そこでいきいきと働く女性の声を伺いました。

やまぐち女性の活躍推進事業者
やまぐち男女共同参画推進事業者

サマンサジャパン株式会社

徳山営業所

相本 薫 さん

管理業務担当
(請負業の顧客管理、スタッフ募集・採用・研修)
勤続年数: 4年4カ月
家族構成: 夫、娘3人(中1、小5、小1)



「相本さん」と呼ばれて仕事をするごとに、
主婦の時には得られない「私＝充実感」を感じる。

Q 入社のきっかけは?

上の子の出産までは介護職をしていましたが、下の子が3歳になるまでの9年間は専業主婦をしていました。そろそろ仕事をと、探していた時に我社の求人広告を目にしました。面接の際、会長の話に感動したことが大きなきっかけです。しかも会長の理念に沿った就業条件は働きやすく理想的でした。

Q 現在の業務・勤務の仕方は

入社当初は、病院のシーツ交換(ナースエイド)に従事していました。2年半位前から少しずつ事務所で現場の管理業務に移行してきました。不安や葛藤もありながら現場を経験した自分だからこそ、より働きやすい職場の環境づくりができるのではという思いで仕事に向き合っています。

Q 子育てと仕事の両立について

午前8時30分～午後4時30分の週休2日で働いています。正直、働き始めたころは、「大丈夫かな」と、子どもの変化を心配していました。しかし、仕事に取り組み始めると、夫の応援(精神的なもの)

や母の言葉に背中を押され、力を抜いて向き合えるようになり、子ども達も家事をしてくれるまでになりました。

今では子どもの話を聞くだけでなく、仕事のことも話したり、教えたり、「同志」と思えることも。専業主婦のままなら、子ども達だけ未来に向かっていくのに、置いてきぼりになっていたかもしれませんが、仕事をすることで、自分も対等に生活ができています。

専業主婦の時は、「○○ちゃんのママ」と言われていたのが、今は、「相本さん!」と名前と呼ばれます。当たり前のことですが、その充実感がとても自分をいきいきとさせてくれます。

Q 女性の立場に立った働き方について

サマンサジャパンで従事するうえで自慢できる事は、その働きやすさです。女性が働きやすい環境が整っています。従業員同士の連携などで、就業スケジュールの調整がとりやすいです。これは、私のような子育て中の兼業主婦にはとてもありがたい環境です。

しかも「清掃」という仕事はさらに良い環

境を作っていると思います。

現場でスタッフが「サマンサらしさ」を出せるよう、女性らしい気配りや細やかさが活かされます。お掃除して終わりではなく、お客様とのコミュニケーションも大切に「ありがとう」がストレートに感じられるとうれしくて、また頑張れます。仕事にやりがいを持てる職場が自然に生まれています。サマンサジャパンが、女性にとってだけでなく、人として成長させてくれる企業であることを実感し感謝しています。



取材を終えて——
相本さんが部屋に入った途端、冬の曇り空が一転。太陽とヒマワリがセットで登場したかと思うくらいに部屋が一瞬で明るくなりました。お話を聞くまでもなく、輝いたその表情から生活＝生き方が「充実しています!」ということが伝わりました。女性の活躍に明るい未来が見えたようでした。(M)



独断で編集委員が選んだ
じょいんと川柳かるた

山陽小野田市「女と男の一行詩」より選出



illustration ぽんじどり ©

か 雷親父をかかあ天下が投げ飛ばす
番狂わせも円満のコツ

せ 洗たく干しの
ステテコとストッキングがからまって
仲がいいのか悪いのか 笑って客観視

り 料理に開眼の夫
材料費の高さには 目をつぶる妻

し 職場に咲く少しいかつい男の花

お オムツ替え得意なパパはヒーローだ

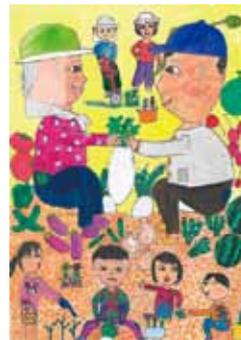
平成29年度 男女共同参画推進月間
ポスターコンテスト入賞者



優秀賞 飯田 鈴さん
周南市立福川小学校 5年



優秀賞 杉山実紅さん
YICキャリアデザイン専門学校 1年



入選 大野華音さん
周南市立福川小学校 5年



入選 八木 茜さん
YICキャリアデザイン専門学校 1年

DV あなたは、大丈夫ですか？

一人で悩まないで
相談してください。

配偶者からの暴力(DV)等に関する相談窓口

- 配偶者暴力相談支援センター (山口県男女共同参画相談センター)
相談専用ダイヤル ☎083-901-1122
DV ホットライン (緊急用フリーダイヤル) 0120-238122
- やまぐち性暴力相談ダイヤル
あさがお (山口県24時間対応) ☎083-902-0889
- 警察レディース・サポート110
(24時間対応フリーダイヤル) 0120-378387
または ☎083-932-7830

緊急時は、110番または最寄りの警察署へ

- 最寄りの警察署
 - ・ 周南警察署 ☎0834-21-0110
 - ・ 光警察署 ☎0833-72-0110
- 山口地方方法務局周南支局 ☎0834-28-0244
- 周南市次世代支援課子ども家庭相談室
☎0834-22-8452
- 周南市もやいネットセンター
(高齢者に関する相談窓口) ☎0834-22-8200